

事業者用追加陳述書

氏名 印

第1 事業内容等

1 事業の概要等

(1) 私は、個人事業主です(でした)。

屋号は_____です。

会社代表者です(でした)。……………以下の資料を提出します。

会社名は_____です。 商業登記簿謄本

◆被用者に等しい場合にチェック又は記載してください。

からだ一つで現場に行く専属的下請け(いわゆる「一人親方」)でした(です)。

発注元工場の敷地内で設備等を提供されて仕事をしていました(しています)。

次のような事業形態です。

(2) 事業内容は、次のとおりです。

(3) 上記事業を始めたのは、昭和平成] 年 月 ころです。

(4) 月商は、

①多いとき(平成 年 ころ)で、約____万円くらいありました。

②今回の申立て直近のころは、約____万円くらいありました。

2 事業継続の有無

(1)事業は今も続けています。……………以下の資料を提出します。

①今後も続けるつもりです。

事業収支実績表

⇒事業を続けても、新たな債務を負うことは (申立て前3か月分)
ありません。

事業を続けると、新たな債務を負う場合があります。

②廃業するつもりです。

⇒廃業時期は、平成 年 月 日(ころ)です。

③事業を引き継ぎました（引き継ぐ予定です）。その内容は次のとおりです。

⇒ _____

(2)事業はやめました。⇒平成 年 月 日(ころ)です。

◆手形不渡りは、

ありません。

あります。……………以下の資料を提出します。

⇒平成 年 月 日

不渡時期を証する書面

平成 年 月 日

⇒平成 年 月 日に銀行取引停止処分を受けました。

◆税務署あるいは許認可行政庁に事業廃止届け等を

しました。⇒平成 年 月 日 ……………以下の資料を提出します。

していません。

事業廃止届け

その他届出書類

3 従業員等

(1) 事業をやめた(事業を続けている場合は、今回の破産申立てを委任した)頃、従業員は

いませんでした。

____人いました(うち、親族は____人です。)

◆上記従業員は、解雇しました。⇒平成 年 月 日

◆上記従業員は、現在も____人います(うち親族は____人です。)

(2) 従業員に対する未払給料等は

ありません。

⇒平成 年 月 日、____人に対し、合計____万円支払いました。

その原資は _____ です。

____人に対し、合計____万円あります。

◆それは、債権者一覧表の番号 _____ です。

(3) 独立行政法人労働者健康福祉機構に対する立替払請求制度は

手続中です。

従業員に説明だけはしました。⇒説明平成 年 月 日

説明していません。

4 帳簿・印鑑類の保管状況

現在 _____ が保管しています。

次の事情により保管していません。

5 手形・小切手用紙の保管状況

もともと使用していません。

現在 _____ が保管しています。

次の事情により保管していません。

6 自動車等の保管状況

もともと保有していません。

現在(誰が) _____ が(どこで) _____ で保管しています。

◆鍵の保管状況 _____

次の事情により保管していません。

7 商業帳簿の記帳状況及び粉飾決算の有無

① 記帳していました。⇒帳簿の種類は, _____ です。

全く記帳していませんでした。事業収支の管理・把握方法は次のとおりです。

②粉飾決算の有無 無 有 (詳細な内容は, 次のとおり 別紙のとおり)

8 税務申告の方法

青色申告 白色申告 でした。…………… 以下の資料を提出します。

申告したことはありません。 確定申告書控え写し
(最近2年分)

第2 営業用施設について

1 営業用施設

必要としませんでした。

住所地の住居を、次の用途に利用していました(います)。

⇒事務所 店舗 工場 倉庫 その他(_____)

住居とは別に、次の営業施設がありました(あります)。

①事 務 所：自己所有物件 / 賃借物件 無償で使用⇒(所有者_____)

◆所在地：_____

②店 舗：自己所有物件 / 賃借物件 無償で使用⇒(所有者_____)

◆所在地：_____

③工 場：自己所有物件 / 賃借物件 無償で使用⇒(所有者_____)

◆所在地：_____

④倉 庫：自己所有物件 / 賃借物件 無償で使用⇒(所有者_____)

◆所在地：_____

⑤資材置場：自己所有物件 / 賃借物件 無償で使用⇒(所有者_____)

◆所在地：_____

⑥そ の 他：自己所有物件 / 賃借物件 無償で使用⇒(所有者_____)

(_____)◆所在地：_____

以下の資料を提出します。

自己所有物件 _____ の

不動産登記簿謄本

固定資産評価額証明書

査定書 (1通 2通)

鑑定書

(競売手続きが進行している場合)

競売開始決定 (写し)

売却許可決定 (写し)

賃借物件 _____ の

賃貸借契約書 (写し)

契約書はありません。

紛失しました。

もともと作成していません。

賃料の授受を示す資料

2 賃借/無償使用物件の明渡し(原状回復)状況は、次のとおりです。

(1) 明渡し済み(原状回復済み)の物件は次のとおりです。以下の資料を提出します。

① 上記番号[・ ・]の物件 明渡しを証する資料

⇒ 明渡し時期：平成 年 月 日

② 上記番号[・ ・]の物件

⇒ 明渡し時期：平成 年 月 日

◆ 敷金・保証金の返還は

ありました。⇒ _____万円です。

そのお金は

残っています。⇒ _____万円あります。その保管方法は

残っていません。

⇒ 生活費に使いました。

債務の返済にあてました。

その返済先は _____です。

その他⇒

ありません。

[未払賃料 原状回復費用]と相殺されました。

その他⇒ _____

(2) 明渡し(原状回復)未了の物件があります。

① 上記番号[]の物件

貸主と明渡しについて合意ができています。

◆ 明渡し予定は、平成 年 月 日です。

◆ 敷金・保証金の返還は、

ありません⇒ [未払賃料 原状回復費用]と相殺予定。

あります。⇒ _____万円返ってくる予定です。

何の話もできていません。

◆ 使用物件には

産業廃棄物や残土が放置されたままです。

毒物・劇物が放置されたままです。

_____が残ったままです。

◆ 敷金・保証金の返還の見込みは、

ありません。⇒ [未払賃料 原状回復費用]と相殺予定。

あります。⇒ _____万円返ってくる見込みです。

② 上記番号[]の物件

貸主と明渡しについて合意ができています。

◆ 明渡し予定は、平成 年 月 日です。

◆敷金・保証金の返還は、

ありません⇒【未払賃料 原状回復費用】と相殺予定。

あります。⇒ _____万円返ってくる予定です。

何の話もできていません。

◆使用物件には

産業廃棄物や残土が放置されたままです。

毒物・劇物が放置されたままです。

_____が残ったままです。

◆敷金・保証金の返還の見込みは、

ありません。⇒【未払賃料 原状回復費用】と相殺予定。

あります。⇒ _____万円返ってくる見込みです。

③特記事項

3 自己所有物件の状況について

産業廃棄物や残土が残っています。

毒物・劇物が残っています。

その他

第3 営業用資産について

1 リース物件について

もともとありません。

業者に返還しました。⇒平成 _____年 _____月 _____日

まだ残っています。

◆残っている物件は、 _____です。

◆その債権者番号は、 _____です。

別紙（リース物件一覧表）を作成して添付しました。

2 原材料・半製品・製品（在庫品）、機械工具類、什器備品等の動産類について

(1)別紙財産目録記載のとおりです。

もともとありません。

- 現在 _____ に保管してあります。
- 平成 _____ 年 _____ 月ころまでありました。
- 自分で処分しました(後記(2)のとおりです)。
- 貸主(大家)が処分しました。
- ⇒ゴミとして廃棄しました。
- 貸主(大家)が売却しましたが、未払賃料 原状回復費用に充当されました。
- そのまま置いてきたので詳細は分かりません。
- ◆置いてきたものの処分価値は、ありません。
- あります。⇒約 _____ 万円。

(2) 処分した動産類は、次表のとおりです。

	処分した時期	処分した物	処分先	処分方法	処分金額	使い道
①						
②						
③						
④						

番号()について、以下の資料を提出します。

処分を証する資料

売買契約書

質札

その他

3 売掛金・貸付金等の債権について

- (1)別紙財産目録記載のとおりです(別紙を作成して添付しました)。
- もともとありません。
- 平成 _____ 年 _____ 月ころまでありました。

(2) 回収した売掛金・貸付金等は、次表のとおりです(申立て前6か月間について)

	回収した時期	回収した相手	回収金額	使い道
①				
②				
③				
④				

4 その他のおもな営業用資産・施設について

(1) 別紙財産目録記載のとおりです。

もともとありません。

平成 年 月ころまでありました。

(2) 処分したその他の営業用資産・施設は、次表のとおりです。

	処分した時期	処分した物	処分先	処分方法	処分金額	使い道
①						
②						
③						
④						

番号 () について、以下の資料を提出します。

処分を証する資料

不動産登記簿謄本

売買契約書

質札

その他

5 事業停止の前後に資産を著しく安く処分したり贈与したことは

ありません。

あります。

⇒詳細は、次表のとおりです（ 別途、別紙を作成して説明しました。）。

	処分した時期	処分した物	処分先	処分方法	処分金額	使い道
①						
②						
③						
④						

6 事業停止の前後に一部の債権者にだけ債務を支払った（代物弁済や債権譲渡等を含む）ことは

ありません。

あります。

⇒詳細は、次表のとおりです（別途、別紙を作成して説明しました。）。

	行為の時期	相手	行為の内容	その事情
①				
②				
③				
④				

7 事業停止の前後に一部の債権者だけに担保の設定等の行為をしたことは

ありません。

あります。

⇒詳細は、次表のとおりです（別途、別紙を作成して説明しました。）。

	行為の時期	相手	行為の内容	その事情
①				
②				
③				
④				

第4 予備欄

（記入欄に記載しきれなかった場合や特に述べたいことがあったら記載してください。もし書ききれない場合には別紙を作成して添付してください。）